

「富士見市文化芸術振興基本計画（案）」に対する意見募集の結果について

平成26年8月25日
自治振興部地域文化振興課

富士見市は「富士見市文化芸術振興基本計画（案）」に対する意見の募集を、平成26年6月10日から平成26年7月9日まで行いました。その結果、2通・23件のご意見をいただきました。お寄せいただいたご意見と当該意見に対する富士見市の考え方は下記の通りです。ご意見については、複数の意見もあることから、要約しています。

パブリックコメント実施方法

- ・ 募集期間 平成26年6月10日～平成26年7月9日
- ・ 告知方法 広報ふじみ 市役所ホームページ
- ・ 意見提出方法 窓口、電子メール

番号	意見概要	対応方針	市の考え方
1	<p>利用率：「近隣自治体のホールと比較しても、高い利用率を誇っています。」（45ページ）</p> <p>ご意見：確かにスタジオの利用率は非常に高いです。しかし、メインホールの利用率は年次報告の数値を見る限り通年約20%程度で有り、「誇る」程高い利用率では無いのが現実でしょう。比較対象のホールは何処か分かりませんが、和光市～ふじみ野市の東武東上線沿線の市民ホールの多くは利用率の低迷に悩んでいます。</p> <p>マルチホールの利用率は通年70%～80%と比較的高いですから、市民グループ主催の企画ではメインホールの800席は大きすぎるのでしょうか。最近出来たふるさと新座館は200席程度で市民グループの利用に適した設計です。一方、NHKのど自慢の開催の内規は900席以上の会場とされており「帯に短し襷に長し」の状態に有るのが現実でしょう。</p>	<p>貴重なご意見として承り、計画推進の中で研究してまいります。</p>	<p>キラリふじみのメインホールの利用区分は、①舞台及び全客席 ②舞台及び1階客席 ③練習、準備、リハーサル ④舞台のみ利用の4区分で利用提供を行っており、多様なご利用のご要望にお応えしています。</p> <p>平成25年度利用率は、① 16.7% ② 19.4% ③ 23.1% ④ 31.5% でメインホール全体の利用率は、この4区分の合計となることから、90%を超えたものとなります。</p> <p>首都圏から30^{km}圏内で同時期に建築されました類似施設のメインホール（和光市サンアゼリア 65.2% 鴻巣市クレアこうのす 63.0% 平成24年度分）と比較してもキラリふじみは、多くの方にご利用いただいていると考えています。</p> <p>ご提案いただいた事業の中には、キラリふじみにおいて、過去に取り組んだものや検討をさせていただいたもの</p>

	<p>展示会議室の利用率は60～70%ですが、展示専用の展示室とアトリエの利用率は50%～60%と低迷しています。</p> <p>利用率を上げて行く為の工夫と努力が求められていると思いますが、いくつかご提案いたします。</p> <p>1. メインホール利用率の向上</p> <p><u>ご提案（1）グランドピアノの有効利用</u></p> <p>メインホールに有るグランドピアノを活用したスタインウェイ体験会はとても人気がありました。メインホールの使われていない時に、30分1000円程度で貸出して市民のピアノの練習に使って頂いては如何でしょうか？同じく、マルチホールのヤマハのグランドピアノはスタインウェイの半額程度で貸出して使って頂いては如何でしょうか？スタインウェイのピアノへの憧れはピアノを練習した事のある者には格別な物が有ります。市民の資産ですから活用したほうが良いと思います。</p> <p><u>ご提案（2）「天井桟敷」席の設定</u></p> <p>1) 入場料金：1000円（川越太鼓）、1000円から（千昌夫コンサート）と、一般の年金生活者に共通な「娯楽は千円まで」という「1000円の壁」を意識した設定になっています。</p> <p>確かにキラリ貸出規定の価格は企画の主催者には比較的 low 料金に設定されていますが、開催されるイベントの利用料金は必ずしも安く有りません。（キラリは最寄りの鶴瀬駅から徒歩で20分以上かかり、バスの便もさほど便利ではありません。交通の利便性を加味して考えると</p>		<p>もありますが、キラリふじみの鑑賞機会に多くの方がご参加いただくことは、身近に文化芸術にふれ、文化芸術に親しむ機会であることから、事業内容の更なる充実を図ってまいります。</p> <p>また、本計画は、富士見市文化芸術振興条例の規定に基づき、市民（アーティストや指導者を含む、すべての市民）、団体（文化芸術活動を行う企業・事業者・NPOなど）、市がそれぞれの役割を担い、互いに連携・協働を図りながら推進していくことを掲げていることから、ご提案いただいた多様な事業内容につきましては、今後の計画を推進する中で、キラリふじみの自主事業に限らず、様々な団体との協働の中で取り組みながら研究してまいります。</p> <p>「芸術監督制度」や「文化芸術アドバイザー制度」に関しましても、市民（アーティストや指導者を含む、すべての市民）との協働で文化芸術を振興する見地から、引き続きアーティストのご理解とご協力をいただきたいと考えてまいります。</p> <p>また、ご提案にもあります文化芸術活動の参加を困難にする要因（情報提供の手法やアクセス等）の解決や高齢者の方や障がいをお持ちの方が広く文化芸術活動に参加しやすい環境の整備、キラリふじみの利用料金の見直しにつきましても、本計画の基本目標4の「誰もが気軽に文化芸術に親しめる環境づくりをすすめる」観点から、計画推進の中で施策を検討してまいります。</p>

利用料金の割高感をいっそう感じます。)

「天井桟敷」の1000円の設定は熱烈なファンで無い人も惹きつける効果が有るので稼働率を高める効果が大きいと実感しました。「1000円の壁」を意識されたきめ細かな料金設定をご検討ください。

2) 前座システム：川越太鼓は前座では太鼓教室の生徒たちが演奏し、後半はプロの演奏家が津軽三味線と合奏で演奏するスタイルでした。前座の人たちはそれぞれチケットを熱心に販売して観客動員に努めていました。

ご提案（3）障害者・高齢者割引制度

障害者・高齢者（75歳以上など）の利用料金割引制度はキラリには有りませんが、美術館・博物館の多くが半額ないし無料（同伴者一名を含む）となっているのに比べて文化行政としてバランスが取れていません。

貸出規定に明記し料金を全公演半額にすることでキラリの稼働率を少しでも高め、かつ収益を上げる努力をするべきでは無いでしょうか？

ご提案（4）中堅・若手芸術家の起用

キラリの公演は各界の著名人を起用し質的には高いものが有ります。しかしながら、著名人は報酬も高いと思われ結果としてこれが料金に反映されてしまいます。著名人の熟練の演技・演奏を拝見するのも良いのですが、伸び盛りの若手の舞台俳優・演奏家を起用することで「若手を育てる場」としてキラリをもっと活用出来ないでしょうか？

@能狂言：若手の能狂言師が無料または低料金（100

0円～2000円)の公演を都内などで開催していません。

@コンサート：富士見市の近くにも東邦音大、尚美学園という音楽専門の大学が有り、この豊富な人材を活かせないでしょうか？大学オーケストラ演奏会誘致の為に、施設の利用料金に学割制度を導入してはいかがでしょうか？

@寄席：中堅・若手の実力派の落語家を招いて、さいたま市ではワンコインで寄席（500円）を開催しています。富士見市でも「ワンコイン寄席」を定期的に開催し楽しみませんか？

@演劇など：有名人を招いた「芸術監督」「文化芸術アドバイザー」制度は僅か10万都市の富士見市にとっては経済的な負担が重すぎはしないでしょうか？

ご提案（5）伝統芸能とその継承

メインホールで開催される郷土芸能や邦楽などの継承すべき伝統の公演の入場者数がいつも少なく寂しいです。

キラリの邦楽・郷土芸能の公演は例年寒い1月に開催されますが、開催時期をもっと参加しやすい時期への見直し事は出来ないのでしょうか？学校教育の一環として平日に開催して市内の小中学校を学校・学年単位で丸ごと招待して音楽の学習の時間に当てては如何でしょうか？

キラリの出前サービスである「アウトリーチ活動」（8ページ）は継続とされていますが、この活動で講師が接する事の出来る生徒数はさほど多くは無いと思われます。また、講師の担当分野が演劇など特定の分野に偏っ

ている気がします。「市は学校教育の中で優れた、文化芸術にふれることや、文化芸術に親しむきっかけとなることを目的」（８ページ）とするのであれば、先ずは生徒たちにキラリに来てもらい多様な伝統芸能を「生」で観て楽しんでもらうことこそが最も有効な方法ではないでしょうか？生の伝統芸能の演奏に触れることで結果として将来何かをやってみたい、と思う生徒も必ず出て来ると思います。「子どもたちが多様な文化芸術にふれ」（８ページ）る機会を是非キラリのメインホールという最高のステージを使って設定してください。

ご提案（６）企画推進におけるコスト意識の徹底

興行師による演歌のコンサートが満席。プロの広告宣伝等のマーケティング方法が実に巧みでした。

@チラシ配布：イベント割引券のチラシを市内のスーパーマーケットの袋詰め作業台に置いたため買い物に来る人たちのうち演歌に興味の有る年配者などへの情報発信が適切でした。是非、スーパー店頭での情報発信のチャンネルを職員の営業活動で開拓してください。企業の多くは地域に根付く事に熱心ですから、協力を拒む事は無いでしょう。) この他、東上線の沿線の各駅で情報発信をすることも可能性が有ります。

@グループ勧誘：割引券は「５人まで」となっていたので知人を誘ってまとまって来場する人が多かったです。

@当日のプログラム配布等は一切無し：会場では配布は無く印刷物のコストを抑える効果と共に紙ゴミの発生を抑えていました。演歌の他に人気の有る演目も有る

かと思しますので、市民の年齢層別の潜在的なニーズを徹底的に調査し把握すべきではないでしょうか？富士見市文化芸術振興基本計画市民アンケートの回収数は263通しかありません。58～59ページの回答からは「いつでも多様なイベント（企画力）」「交通の便がよい（利便性）」「料金設定が手頃で利用しやすい（経済性）」に高い関心の集まって居る事が読み取れます。「魅力あるコンサートや講演会、展示会が無い（企画力不足）」という指摘（40人）を見ると「高い利用率を誇っています」（45ページ）などと自画自賛してはいけないことを痛感します。

キラリで時折プロの演奏家などの無料公演を開催されていますが、本公演の前宣伝の位置付けでされるのであれば有効ですが、単に無料ではキラリの増収につながりません。少額の500円でもチケットを買った人は天候などの条件が悪くても来る確率が高いですが、無料だと悪天候ではあまり来ないでしょう。ワンコイン・コンサート（500円）もしくは埼玉会館が力を入れているランチタイムコンサート（1000円）などの低料金のコンサートが今いろいろな所で試みられて人気を呼んでいます。

ご提案（7）シネマ歌舞伎と名画の上映会

最近、往年の名優の映像記録である「シネマ歌舞伎」が人気を呼んでいます。歌舞伎の上演はコストもかかるでしょうからキラリでは無理かと思いますが、シネマ歌舞伎ならば容易かと思えます。（上映料金は1000円から2000円程度となっています。市民会館ならばもっと安く上映は可能でしょう。）

キラリは土日は混んでいますが、平日はあまり公演等が有りません。空いている平日の午後（2時頃～）と夜間（19時頃～）に多様な映画の上映会をワンコイン（500円）制で開催しませんか？

ご提案（8）「傾斜」料金方式（貸出料金体系の見直し）

キラリのメインホールの貸出は土日休日に集中していますが、平日との価格差は25%程度でしか有りません。（全日の場合の比較）稼働率を高める為に、土日の貸出料金を平日の2倍程度に引き上げると共に、平日の映画会等のイベントが開催しやすいように平日の利用料金を引き下げてはいかがでしょうか？また、平日中でもイベントの入りにくい曜日はさらに引き下げるなど稼働率促進の為にきめ細かい料金体系の見直しが望まれます。

ご提案（9）広告宣伝の費用対効果徹底

キラリでは年初に厚紙の年間計画を印刷して配布していますが、単館のこのパンフレットは広告宣伝効果としては疑問を抱きます。

そこでご提案ですが；

- 1) 市内の文化施設のイベント情報を月刊で刊行する
（キラリ、各公民館、コミュニティセンター、図書館、図書館支所、難波田城資料館、貝塚公園資料館、びん沼公園など市内の全ての施設のイベントを掲載）
- 2) 1) の情報をウェブで公開し開催予定の6週間前には必ず閲覧できるようにする「富士見市おたのしみサイト」（仮称）
- 3) 1) 2) の整備と共に年度計画は廃止またはウェブのみとする

4) 1) 2) をさらに発展させ東武東上線沿線の和光市、朝霞市、新座市、志木市、富士見市、三芳町、ふじみ野市の総合的なイベント情報紙を月刊で刊行し、ウェブでも公開する

市町村の枠を超えてさいたま市程度の規模で広報を行うと大幅な広報の経費削減になるでしょう。さらに、利用者が多数の企画の中から好みに合ったものを選べるようになるので多様化するニーズに合った企画を選び、利用者にとっては良い企画を選択しやすくなると思われます。

ご提案（10）「お笑い」も文化です

夏のお笑いフェスティバル（吉本興行）が和光市、新座市、川越市で開催されますが、このようなお笑いも立派な文化ですので積極的に招致しませんか？

富士見市の「文化芸術振興基本計画」（案）は真面目なのは良いのですが、庶民の「日頃の憂さを忘れてとにかく楽しみたい」という本音の欲求からはやや高尚過ぎはしないか、と思うことも有ります。キラリでもこうした庶民的な公演も積極的に受け入れホールの稼働率をもっと上げませんか？

ご提案（11）市内循環バスの増便とルートの再編

水谷東地区からは東武バスでは市役所や図書館に行くことが出来ません。非常に不便です。

ららぽーとの誘致に合わせて市内バス路線の整備がなされると伺いました。バスでキラリに行っても帰りに市内循環バスでは帰れない状態で、交通弱者にとっては納税義務を果たしても市民会館の利用があまり出来ないとい

	<p>う不平等が発生しています。この不平等を少しでも是正するようバス路線の再整備を是非早急にお願いします。</p> <p><u>ご提案（12）びん沼公園での「薪能」開催の可能性</u> 市立の「びん沼公園」の環境は薪能を開催するのに適しています。富士見市でも若手の能楽師をお招きして「薪能」を開催しませんか？</p>		
2	<p>2. 展示室の利用率の向上 展示を見に言っても会議室と兼用のABは使われていても、展示専用の展示室とアトリエが余り使われていないようです。稼働率を見ると、展示室は概ね65%、アトリエは50%といったところでしょう。</p> <p><u>ご提案（1）市内美術品の常設展示場の設置</u> 市内に有る貴重な美術品を常設展示し、市民の鑑賞に提供する「富士見市美術室」（仮称）を設置しませんか？美術館を建てるのは大変ですが、既存の施設の一室を美術館並に温湿度・施錠管理し貴重な市民の美術品を展示保護する事をご提案します。</p> <p>@縄文時代の美術品：ムササビ型土器など貴重な遺物が市内で発見されて貝塚公園の資料館に展示されていますがあくまでも考古学的な遺物としての扱いとなっています。文化財保護法の範囲で許されるので有れば、原日本人の美術品としての価値を認めて展示をさせ</p>	<p>貴重なご意見として承り、計画推進の中で研究してまいります。</p>	<p>キラリふじみの展示会議室・展示室・アトリエ等の文化支援施設は、建設準備段階から市民の日常的な発表や活動の場として期待された施設であることから、引き続き市民の文化芸術活動を通じた交流発表の場として施設提供を充実していきたいと考えています。</p> <p>本計画の基本目標2 施策の柱1「公民館や交流センター、資料館、図書館などを活かした地域での文化芸術活動の充実」の中でも述べているように、市内公共施設がお互いの情報を共有するなどの連携を図りながら、地域での実績や専門性、人材を活かして市民ニーズに応じた多様な事業を展開することを計画しています。</p> <p>また、基本目標2 施策の柱2「日常生活の中の文化芸術」では、市民・団体・市が連携を図りながら、野外で行われるコンサートや作品の展示、駅や商店街での発表など、市民の日常生活の中で文化芸術にふれる機会の提供を掲げています。これらの観点も踏まえ、ご提案の趣旨を活かしながら、多様な展示機会について、研究していきたい</p>

<p>んか？</p> <p>@文化ともしび賞受賞作品（４３ページ）</p> <p>小口益一作品が市役所の壁に飾って有りますが、残念ながら解説も無く私も教育委員会にお伺いしてはじめて存在を知りました。大曾根勝男さんの扇凧は難波田城資料館に展示されて有る様ですがキラリにも展示したいものです。</p> <p>その他の文化ともしび賞の受賞者は主に舞台芸術ですので、DVDの映像として常設展で常時鑑賞の出来る体制を整えたいものです。</p> <p>@下総皖一賞授賞作品：</p> <p>北原幸男さんが授賞されましたが彼の指揮による曲の数々をなかなか直接聴くことが出来ないので拝聴する機会を設けて頂きたいものです。（４３ページ）</p> <p>@県展入賞：</p> <p>県展の入選者は市内でもけっこうおられるので特に賞を授賞された方々の作品は常設展に展示しつつ保管管理しませんか？</p> <p>@セルビア友好都市・シャバツ市の寄贈美術品：</p> <p>市役所の二階のガラスケースに収められていますが、常設展での展示をご検討下さい。</p> <p>@浮世絵の橘コレクションの展示：</p> <p>市内でも知る人ぞ知るコレクションですが、非常に質の高い美術品ですので、もしお借り出来ればご自宅に展示されていない浮世絵の一部を常設展に展示していただけないでしょうか？</p> <p>@金沢健一さん：富士見市在住、川越で創作をされている方です。市内でも展覧会を開催して彼のユニークな創作について市民が知る機会を設けましょう。</p>		<p>と考えています。</p>
--	--	-----------------

@ゆるキャラと原画：市内でのゆるキャラ勢揃い展示と原画の保管と展示を行いましょう。

ご提案（2）埼玉県立近代美術館の移動展示の開催

私はこの三年間埼玉県立近代美術館や川越市立美術館の解説等のボランティアをしています。

@サンアゼリア（昨年秋）

収蔵品のうち主にフランス画家・彫刻家と日本の画家の作品を展示。好評で3週間の期間中に5500人を超える入館者が有りました。

@県立歴史と民俗博物館（昨年冬～今年3月）

収蔵品のうち埼玉の風景を選んだ作品を特集し解説を数回担当しました。実際に絵画を描かれている方に非常に好評でした。

@今年度計画（秋以降）：深谷市と川越市立美術館での開催が計画されています。

一度、受け入れて市内での展示を成功させれば、その後の企画展を常設展と合わせて市内で開催する道が開けるでしょう。

ご提案（3）塩尻市・小口益一版画の展示

富士見市で長年活躍された小口益一の作品を懐かしむ方々に時々お会いします。鶴瀬コミュニティー・センターの緞帳の原画も描かれたそうですが、原画と緞帳を比べて鑑賞したいものです。また、全国に先駆けて富士見市で「いろはがるた」を版画で制作され、これが各地に広まった経緯が有ります。小口益一は改訂版を何度か出していますが実物を常設展示したいものです。

小口益一作品は塩尻市へ寄贈された分だけでも350

点以上有るそうですが、「里帰り展覧会」をキラリの展示室を使って開催しませんか？

ご提案（４）「版画の里」富士見市の提唱

版画の里富士見市 を提唱し版画に関連した企画展を継続的に行いませんか？

版画は比較的地味ですが人気のある分野でも有ります。埼玉県立近代美術館には日本で最大の一つでもある駒井哲郎のコレクション（１００点）、ゴッホのタヒチ時代の貴重な版画作品なども収蔵されています。県内様々な施設に魅力的な版画作品が収蔵されていますので、これを招いて企画展を開催することは可能です。

アウトリーチ活動に関連して「富士見市育ちのアーティストの養成に繋がる環境づくり」が提唱されていますが（８ページ）、ステージアートの限らず版画などの絵画の分野でも必要な事でしょう。先人たちの業績を踏まえてさらに一歩進めたり深めたりすることが、私たちの世代への宿題だと思います。

「版画の里」のメリットはコストパフォーマンスの良さにも有ります。何よりも市民会館のホールのような大掛かりな装置が必要有りません。

富士見市は交通や地理的な制約からさいたま市の局在する県立などの文化施設を利用しにくい環境に有ります。キラリでの、版画や絵画等の展示はとても有意義だと思います。

ご提案（５）障害者アートの展示

最近、障害者の個性的なアート作品が世界的に注目されて、厚生労働省も支援を行っています。埼玉県でも障

	<p>害者福祉推進課が中心になって障害者アート展を開催しています。</p> <p>是非、才能を発掘場としてキラリでもっとスケールの大きな障害者アート展を開催していきたいものです。障害者アートでは作品を製品のデザインなどに活用して収益を上げて、障害者の収入につなげることが大切ですので、富士見市も県庁やビッグアイと連携して商品化を推進しましょう。</p> <p><u>ご提案（6）東日本大震災の関連アート作品の展示</u></p> <p>震災から3年半を経て埼玉県の方は忘れがちですが、今でも報道では13万人以上の方が仮設住宅で生活が続けています。被災者の心の支えとして、絵画・写真・文芸（俳句、短歌、詩など）が連綿と創作されています。こうした被災者の現状を知り未来をどう構築していくかを考えていくきっかけとしての「被災地/者アート作品展」をキラリで開催しませんか？</p> <p>県立近代美術館で被災地の現在を撮影した写真展が開催されますが、こういった展示もキラリで開催することはとても有意義であると思われます。</p>		
3	<p>3. 図書館の活用の課題</p> <p>広報6月号にも強調されていましたが埼玉県は日本の首都で有る東京に米や野菜を供給して来た土地であり、富士見市にとっても農業は市の主要産業の一つです。キラリのイベントのサーカス・バザールもこの地元産の農作物の利用促進と文化事業の結合の形態でしょう。</p> <p>これからも富士見市の主要産業の一つとして農業が有り続けると思いますが、富士見市の歴史の中には「南畑小作争議」という時代も有りました。この争議の中で、</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>文化芸術に関する事業展開につきましては、公民館や交流センター・資料館・図書館などでも、施設や地域の特徴を活かした取り組みを進めております。</p> <p>ご提案も参考にさせていただきながら、今後の事業展開を検討してまいります。</p>

全国的に有名な詩人となった渋谷定輔が富士見市から生まれた訳です。鶴瀬コミュニティセンターには渋谷定輔の油彩画が掲げられていますが、この云われを知る市民が少なくなっている事は寂しい事です。渋谷定輔の残した歴史的文化遺産を継承し発展的に活用して行くことが今の世代の使命だと思います。

ご提案（1）：中央図書館の渋谷定輔文庫の活用

1) 渋谷定輔の詩集「野良に叫ぶ」は絶版状態回避
詩集「野良に叫ぶ」の著作権者の了解を得て、市内の小中高校生徒向けに文庫本の副教材をつくりませんか？出来れば英訳も付して、国語だけでなく英語の教材としても使える簡素な文庫本を市の文化事業として行いませんか？

音源として渋谷定輔自身の朗読が残って居るので有れば適切に保管管理して、生の音源に接する機会を設けるべきでしょう。

2) 詩集「野良に叫ぶ」未収載の詩歌の発掘
渋谷定輔文庫の中にはまだ世の中に知られていない詩歌の文化遺産が眠っている可能性も有りますので、是非、市民の力で本にまとめられていない第二の詩集を刊行しましょう。

3) 子規庵の活動に見倣って
子規の遺稿は今でも季刊の雑誌で解説されて顕彰活動が継続されています。子規の命日、蕪村忌などの節目の日にはハイキングや寄席などのイベントが行われ鶯谷・根岸の観光資源となっています。
富士見市でも渋谷定輔文庫の歴史的価値の研究に着手すべき時期を迎えていると思います。

4) 渋谷定輔と布施辰治と善隣友好

人権派弁護士として活躍し、韓国でも顕彰されている布施辰治の映画が最近作られましたがこの中に渋谷定輔が登場するそうです。

川越市は在日朝鮮韓国人を中心とする唐人パレードを毎年開催し、去年は朝鮮半島の絵画の紹介の展覧会がありました。渋谷定輔と布施辰治の生涯続いた関係を通して善隣友好の事業を企画したいものです。

5) 写真家土門拳と富士見市

リアリズム写真の巨星として著名な土門拳は南畑の積みわらの写真を残しています。土門の残した数々のネガフィルムは今富士フィルム(株)の銀塩写真技術の継承事業の中で新しく蘇って各地で展示されて居ます。

キラリの展示室を整備して外部から作品が借りられる状況になったら、是非、土門拳の写真展を開催したいものです。

ご提案(2):「詩歌の里」富士見市の提唱

1) 富士見市の詩歌

富士見市は短歌も創作していた渋谷定輔をはじめ詩歌の盛んな土地です。

2) 「詩歌の里」富士見市

詩歌と詩人を有む富士見市の風土を「詩歌の里」として、県内外並びに海外に向けて発信できないでしょうか？特に小中高校生徒の国語力の向上に資する事が大きいと思います。キラリや鶴瀬コミュニティセンターを拠点にし、市内の学校の生徒たち詩歌の創作活動を応援するイベントを開催して行きたいものです。

<p>4</p>	<p>4. 観光資源としての富士講遺跡</p> <p>図書館のミニ展示を拝見して感動しましたが、富士見市には富士講の遺跡が3座有ります。実は志木には有名な田子山富士ともう一座宗岡（下南畑に接する所）に有ります。宗岡に有る志木市立郷土博物館には貴重な富士講の遺跡が多数保管されています。富士見市では富士山と富士講の信仰遺跡が世界文化遺産登録された際に富士山の写真入りのうちわを配布して話題になりました。このブームを一過性で終わらせる事無く、世界文化遺産の富士山と富士見市の関係を認識して行くためにご提案します。</p> <p><u>ご提案（1）ハイキングコースの整備</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 志木市の田子山富士 ② 志木市郷土博物館（お休み処） ③ 宗岡のお富士山 ④ 南畑のお富士山（1） ⑤ 南畑のお富士山（2） ⑥ 難波田城資料館（お休み処） ⑦ オトウカヤマ富士講遺跡 <p>七福神のように七箇所ですたンプをもらうとご利益が有ると言う「伝説」を創作しハイキングコースとして整備しませんか？距離にして10km くらいにはなと思いますが、近隣の志木市と連携して整備すれば志木市としてもメリットの有る話でしょう。</p> <p>「市域資源・観光資源として積極的に市内外に発信します」（11ページ）と有りますが、これは何もキラリに限った事では無く、富士見市に有る良いものを、面白い</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>富士見市の優れた文化芸術を市内外に発信していく取り組みは、「富士見ブランド」の形成にもつながり、同時に文化芸術を活かしたふるさと意識の共有も図れるものと考えています。</p> <p>ご提案も参考にさせていただきながら、計画をすすめてまいります。</p>
----------	---	-----------------------	---

	<p>ものは何でも利用するという良い意味での食欲さが必要だと思います。</p> <p><u>ご提案（２）富士見市内の富士講の歴史研究</u></p> <p>富士見市には市民学芸員制度が有って様々な分野で独自の調査研究をされている方がおられます。是非、市民学芸員ならびに教育委員会のご支援の元に、富士見市内の富士講の活動についての歴史的な調査を推進して頂けませんでしょうか？</p> <p>富士見市内の富士講関連資料もこの機会に収集して保管管理することで、郷土の歴史的遺物が失われたりしないように努めたいです。</p> <p>新たに調査で富士講遺跡が発見される可能性が有るかもしれません。</p> <p>「富士見市」と名乗るからには、富士山が見えると共に富士講の歴史も学べるところに整備していきましょう。</p>		
5	<p>【全体】</p> <p>案および条例には、特段、「市民」の定義は見当たりませんが、富士見市民（住民）だけでなく、来街者も、「富士見の文化芸術の担い手」として捉えてはどうでしょうか。政策や財政に関する決断と責任や、公共施設料金等において住民を優先するのは当然としても、昼間人口が多いまちでは、担い手像を広く捉えているように思います。</p> <p>例えば、高田馬場・本郷・御茶ノ水といったまちでは、学生・教員もそのまちの文化を形成しています。丸の内ではビジネスパーソン、銀座・秋葉原では買い物客でしょうか。神田淡路町の WATERRAS（ワテラス）では、「地域</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>富士見市自治基本条例では「市民」を「市内に在住、在勤又は在学する個人及び市内に事務所又は事業所を有する法人その他の団体をいう」としています。</p> <p>また、本計画の基本理念の「誰もが身近に親しめる文化芸術の振興を市民・団体・市がそれぞれの役割を果たしながら、協働して取り組む」とあるように文化芸術の振興には、多くの方々との協働が必要であると考えています。</p>

	<p>住民、学生、就労者、来街者が自由に活動し交流し憩う、新しいコミュニティ」の形成をまちづくりの方針としています。</p> <p>そして、当市も働く場所や商業を誘致して、ベッドタウンから昼間人口も持つまちへと変化していきます。みずほ台駅を挟んだエリアの一員として、淑徳大学（学生・教員）との連携を図ろうとするアイデアも商業者の中にあると聞き及んでおり、まちの担い手像を広く捉える機運もすでにあると思われまます。</p>		
6	<p>【8頁6行目「アウトリーチ活動を継続します】】</p> <p>実績として、活動の固有名詞を示した方がイメージしやすいです。</p>	<p>貴重なご意見として承り、欄外の用語解説を充実します。</p>	<p>欄外の「アウトリーチ」の用語解説に事業例などを記載し充実してまいります。</p>
7	<p>【8頁7行目「学校以外の様々な場面】】</p> <p>1. キラリを活用した広域放課後児童クラブを設置できないでしょうか。文化芸術に関心の強い子たちを、民間学童保育のように学校からの送迎バスにより集め、特徴ある学童保育を実施するものです。江戸川区の「すくすくスクール」では、学童保育に、保護者や地域のサポーターが、文化芸術・学習・スポーツのコンテンツを提供しています。これをヒントに、キラリの持つ資源を使い、子どもによる創作活動を日常化できるのでは。</p> <p>各校の放課後児童クラブの狭隘化を抑止し、路線バスや駐車場といった保護者のお迎え環境を提供でき、校区を越えた人間関係の構築（居場所づくり）もできるかと思ひます。図書館、総合体育館、ららぽーと、周辺農地を使ったプログラムもできるでしょう。また、各校児童クラブから数か月間「留学」する方式も考えられます。</p> <p>ららぽーとの将来の増床、第五保育所の改築、別項目で述べるカスケードを活かしたレストランの新設などの</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>子どもたちの安全確保や学校現場との連携を考慮すると、学校の隣接地への放課後児童クラブ設置が望ましいものですが、ご提案の学校以外の様々な場面で、子どもたちが優れた文化芸術に触れる機会を提供していくことは大変重要であると考えます。</p> <p>キラリふじみのアウトリーチ活動を発展させながら、計画を推進するなかで、ご提案の主旨を尊重しながら取り組んでいきたいと考えています。</p>

	<p>機会に、ベースとなる一室を合築で確保できるかもしれません。</p> <p>2. イムス富士見総合病院の小児科病棟に向けた事業はできないでしょうか。ユーモアに満ちた芸術は、療養にも有用かと思います (cf. 映画「パッチ・アダムス」)。</p> <p>外部からの感染予防のため、表現者が患児に接することはできないでしょうが、内部の壁などは表現の空間になり得るでしょう。</p> <p>また、向かいの諏訪小校舎は規則的に並んだ窓と白い壁を有しています。キャンバスやスクリーンのように使えるかもしれません (cf. 映画「ニュー・シネマ・パラダイス」)。容態が安定している患児は、窓から見ることもできるかもしれません。また、ミラーやイヤホンで、光と音も届けさせたりできるかもしれません。窓を4コマ漫画の枠に見立て、中で役者が動くのを順に双眼鏡で見る方法であれば、短い起承転結の演劇を表現できるかもしれません。</p>		
8	<p>【9頁9行目「公民館・交流センター・資料館・図書館などの文化芸術活動団体と、学校…などとの連携】】</p> <p>【9頁下から4行目「公民館・交流センター・資料館・図書館と学校との連携】】</p> <p>この2文を合わせると、文化芸術活動団体＝館長以下職員の組織体（館そのもの）に見えます。つまり、「公民館等×学校等」です。</p> <p>「公民館等を拠点とした文化芸術活動団体×学校等」ないし、「(公民館等+公民館等を拠点とした文化芸術活動団体) ×学校等」ということであれば、もう少し表現の工夫が必要に思えます。</p>	<p>貴重なご意見として承り、表現の修正をいたします。</p>	<p>9頁9行目「公民館・交流センター・資料館・図書館などの文化芸術活動団体と、学校や就学前の幼児たちの学びの場や…」を「公民館・交流センター・資料館・図書館などを拠点に文化芸術の活動を行っている団体と、学校や就学前の幼児たちの学びの場や…」に修正します。</p>

9	<p>【11 頁 10 行目「多彩な創作活動を…積極的に市内外へ発信します」】</p> <p>特に、子ども向けの一連のワークショップは、「グッドデザイン賞」「キッズデザイン賞」を受賞しうるものと思います。世間一般に訴求しうるコンテストで、工業製品に限らないものですので、応募された方が良いと思います。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>シティセールスの見地からも文化芸術の振興は、重要な取り組みと考えています。貴重なご意見として承ります。</p>
10	<p>【20 頁 2 行目「文化芸術にふれる機会の少ない方々に…鑑賞の機会を提供」】</p> <p>キラリの鑑賞に充当できるギフト券を用意してはどうでしょうか。特定された入場券のプレゼントですと、渡す相手の都合・趣味に合うかどうか分からず、館としても空席が目立つ結果となります。</p> <p>家族・友人へ、お得意様へ、福利厚生、景品として。1 年間を有効期限とし、未使用なら来館いただければもう 1 年は延長できるように。ららぽーとのシネコン売店でも購入できる。東武東上線沿線の文化施設と共通化…などが考えられます。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>文化芸術の振興には、富士見市役所前の大型商業施設とキラリふじみとの連携をはじめ、商店や企業との連携は重要であると考えています。具体的な手法につきましては、計画を推進するなかで多角的に研究してまいります。</p>
11	<p>【20 頁下から 2 行目「音楽や演劇、映像などを身近な施設で鑑賞できる仕組みづくり」】</p> <p>1. 受入側にも負担少なく機動的に展開できる出張モジュールを構築してはどうでしょうか。SF 人形劇『サンダーバード』に登場する輸送機は、事態に応じてコンテナ（火災用・水難用・掘削機材）を交換して素早く飛び立っていきました。そのアート版です。</p> <p>普段は文化芸術活動に供していない施設をも活動空間に変える資機材一式（音楽・展示・劇・ワークショップ用等）を、宅配トラック程度の車両で輸送できるパイプ</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>文化芸術振興基本計画市民アンケートでも、文化芸術の活動や鑑賞を困難にする要因の一つに「身近なところで活動する場所や鑑賞する機会がない」が挙げられています。身近な場所での鑑賞機会の提供の手法や運営体制などの具体的な取り組みについては、今後、計画を推進するなかで多角的に研究してまいります。</p> <p>また、キラリふじみのHPのリンク先につきましては、キラリふじみの指定管理者と連携し、ご提案の主旨を尊重しながら検討してまいります。</p>

	<p>カーゴに分梱し、出張できるようにする。学校の普通教室、休日の事業所駐車場、福祉施設のロビー、空き店舗・倉庫など、電源や機材を吊り下げる場所の確保が難しい地点でも活動できるように。(cf. 東京大学総合研究博物館の、教室を突如ミュージアムにするプロジェクト「スクール・モバイルミュージアム」)。また、設営・撤収時間を短縮し、他の部屋への騒音や立ち合いを最小限にする。キッチンカーやケータリングカーを随伴させれば、公共ホールでは難しい、子どもが好きな軽食を提供しながらの活動もできるかと思います。</p> <p>2. 中央図書館で契約している「ナクソス・ミュージック・ライブラリー」をキラリ HP からリンクすると良いと思います。図書館側の設定により、「キラリの〇月〇日の演奏会・劇で使われたクラシック曲一覧」といったプレイリストを設定したり、アルバムの特定トラックにリンクを貼ったりすることもできます。</p>		
1 2	<p>【21 頁下から 3 行目「店舗や倉庫などを活用したアート空間の検討」】</p> <p>空き店舗を活用する場合には、新たなテナントが入居する機会を削がないような工夫があると良いと思います。アート空間として活用されていても、「店舗」としては空き状態で、まちがその物件に期待する機能としては、ズレがあるということです。</p> <p>広さや設備の状況を見やすくしたり、管理会社の連絡先を掲出したりすると良いでしょう。リノベーション・コンバージョン・セルフビルドを活用して、賃料が身の丈に合うものであれば、出店したい人はいるはずですし、消費者もチェーンストアだけが大好きなわけではありま</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>計画実現の具体的な手法につきましては、ご提案の内容も参考にさせていただきながら計画を推進するなかで検討してまいります。</p>

	<p>せん。アート空間として活用中に見学された出店者であれば、店舗として再稼働したあとも、そのご縁でギャラリーを兼ねてもらえるなどできると思います。</p>		
<p>1 3</p>	<p>【21 頁下から 2 行目「路上や公園、身近な場所を活用したアート空間の検討」】</p> <p>1. アンダーパスの壁などは、地域の方々の取り組みにより、微笑ましい絵がペイントされています。これにアートの要素を加えることで、より幅広い世代の心豊かな空間を演出できると思います（例えば、福岡大学病院小児医療センターのアートワーク）。</p> <p>ふじみ野駅北にある車道付アンダーパスは、汚損行為が目立つ場所となっています。ここを巨大ランドスケープ・キャンパスとし、取り組んでいくことが必要ではないでしょうか。上から落書き防止塗料で加工を施しても再度の汚損行為はあるでしょうが、めげずに再修復を繰り返して行くことで、子どもたちに示せる大切なものがあると思います。</p> <p>2. (仮称) ふじみ野出張所等多目的公共施設の交番・広場に面した 2 階外壁を、スクリーンとして運用できるようにしてはどうでしょうか。白く塗装し、雨による汚れを防止するコーティングをし、窓に白いシャッターを付ける。交番屋根に投影機を付けるか、交番前スペースで帰宅者向けの「つきいち」等実施しプロジェクターによる投影を委託する。バス待ちの 5 分間を利用した映像作品や予告を投影するなど。</p> <p>ないし、透過型スクリーンを 1 階喫茶窓に設置し、内側から投影する。こちらの手は、空き店舗となっている物件でも使え、アート空間として活用しつつ、中をガラス</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>計画実現の具体的な手法につきましては、ご提案の内容も参考にさせていただきながら計画を推進するなかで検討してまいります。</p>

	<p>越しに見てもらおうテナント募集のPRも兼ねます。</p> <p>3. 身近な場所でありながらアートからは遠いのが、公共のトイレです。トイレの壁に、ハガキ大ほどの風景パネルを付けられるようにしてはどうでしょうか（サインナット、パネルホルダー）。荒れた学校への対策として、トイレの積極的な改修が、安らぎや心の安定につながるなどの指摘もあります。</p> <p>風景写真などの作品をシートに印刷し、それを挟んだガラスを貼付。あるいは、風景をモチーフにした陶芸タイル。たまに交換すると季節感が出てくるかもしれませんし、トイレを巡回展示スペースと捉えることもできます。</p> <p>4. 鶴瀬駅東通線や市道 5137 号の街路灯にバナーフラッグによる広告を掲出できるようにし、路上をアート空間にするための財源としてはどうでしょうか。また、バイパス歩道や県道の BP 陸橋以东には、自転車の安全と農作物への光害を考慮し、ボラード灯のような低い位置の光源に広告を貼付してはどうでしょうか。(cf. 平成 20 年 3 月 25 日付 国道利第 22 号 国土交通省道路局長通知「地域における公共的な取組みに要する費用への充当を目? I とする広告物の道路占用の取扱いについて」)</p>		
14	<p>【22 頁下から 3 行目「活動に対する相談・支援体制の充実】</p> <p>ららぽーと富士見の従業員がサークルを結成するための支援を、三井不動産やテナント会に促して欲しいと思います。</p> <p>彼らの多くは近隣から雇用され年齢や勤務時間帯が似通っており、機会さえあれば、テナントの枠を越えた仲</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>文化芸術に親しんだ市民がさらに、自らの文化芸術活動に積極的に参加・創造・発表することにより、活動意欲が向上し心が満たされていくものと考えています。</p> <p>また、文化芸術の創造は作り手と受け手双方の理解と交流を創出することができます。ご意見の主旨を尊重し、今後の計画を推進するなかで検討してまいります。</p>

	<p>間づくりが期待できます。仲間として、富士見の文化芸術活動を担い、鑑賞活動を行うグループとなります。また、グループで市内の食べ歩きをしたり、販売職から独立して市内でビジネスを立ち上げたりしてくれるかもしれません。</p> <p>横の繋がりのきっかけとしてキックオフパーティーやボーリング大会を開く、従業員休憩室に市施設やキラリに関する情報ラックを置く、従業員向け広報紙やグループウェアに市内目的内団体届などサークル結成に必要な情報を掲出する、個人更衣ロッカー以外にサークル備品用のロッカーを置く…など。</p> <p>市民への働きかけとして、所属先である学校は多くの箇所では触れられていますが、勤務先も市民への働きかけとして注目してみる価値はあると思います。その試金石になるのでは。</p>		
15	<p>【22 頁下から 2 行目「市内公共施設の予約管理システムの検討】</p> <p>1. ログイン画面等に企業広告を掲出し、財源確保と産業振興を図ると良いと思います。サークルに必要な、旅行代理店・保険・レンタル・楽器店・画材店・飲食店などによる出稿が期待できます。</p> <p>2. 電話による問い合わせで一回限り使えるゲスト ID・パスを発行し、目的外利用（一回限りの利用）の予約ができるようにした方が良いと思います。送信完了画面に PDF 化された申請書を表示し、社印など押印・提出してもらえば、館側でデータとして手入力する手間が省けるでしょう。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>関係職員で構成し現在協議を進めております「公共施設予約システム導入検討委員会」の中で、検討してまいります。</p>

	<p>3. 機械に苦手意識を持つ方や、目的外利用でも便利のように、OCRシートによる予約も可能にした方が良いと思います（後者については、PDFフォームで入力したものをFAX・メール添付も）。</p> <p>専用紙と機材が必要なマークシートとは違い、Wordなどで普通紙に館が自家印刷して様式を作成、一般的な複合機のスキャン機能で処理ができ、英数字程度であれば手書き文字も認識してExcelなどの形式に出力できます。各種講座申込用紙やアンケートもこれで処理でき、公民館などの施設には有用なシステムかと思います。</p>		
16	<p>【23頁7行目「富士見ブランド」】</p> <p>1. ブランド化の一環として、サウンドロゴを制定してはどうでしょうか。映像によるPR、上演前のスクリーンの際に市章・キラリ画像ロゴとともに流す音声です。館内放送にも使えます。</p> <p>2. キラリ前の高架下交差点の名称を「キラリふじみ」とし、信号機に付記してはどうでしょうか。商業施設名を交差点名にしている事例もあり、おそらく、高架北のメインゲートの信号機には「ららぽーと」と付記されるかと思います。この地域のもう一つのコアとしてPRし、車の誘導にも役に立つと思います。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>市内の優れた文化芸術をはじめとする様々な地域資源と市内外に発信する取り組みを継続的にすすめることで、ふるさと意識が高まり、ひいては「富士見ブランド」が形成されていくと考えています。「文化芸術のまち富士見市」の魅力を発信していく具体的な手法につきましては、今後、計画を進めるなかで取り組んでまいります。</p>
17	<p>【24頁下から4行目「地域で行われる文化芸術の情報提供」】</p> <p>『ごみの出し方』を地域ごとの発行にし、文化芸術などの地域情報（公民館などで編集）と、広告ページを設けてはどうでしょうか。転入時に受け取り、地域に無頓着な人であっても、必ず保存し繰り返し見る媒体です。落ち着いたら、地域に目を向ける余裕がでてくるはずで</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>情報提供は、文化芸術に参加しやすい環境をつくるうえで重要な施策と考えています。効果的な情報提供を検討してまいります。</p>

	<p>す。新生活者に向けて広告を打ちたい事業者はたくさんいて、財源の確保もできるのでは。</p>		
18	<p>【24 頁下から 2 行目「新しい情報発信の仕組みづくり」】 駅で配布されているフリーペーパー（沿線版複数社）に、東上線沿線の館合同で広告を出してはどうでしょうか。散発的に各館が広告を出す場合とちがい、数ページを買い取る特集として表紙にも記載されるかもしれません。</p> <p>クーポンマガジンを手に取っている層は若年層が多いですが、文化芸術にすでに興味を持っている中高年層も読者に加わり、発行社の飲食店広告獲得の幅が広がるでしょう。価格交渉の面でも優位に立てるのでは。そして、元々は飲食店クーポンに惹かれて手に取った若年層も、今まで見ていなかった館の広告に触れることとなります。</p> <p>また、各館独自の PR 誌には広告欄があるものもあり（例：サンアゼリア折り込み版）、そういったものに出稿しても良いと思います。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>商店や企業と連携した文化芸術の情報提供を検討してまいります。</p>
19	<p>【29 頁下から 7 行目「改修」、30 頁下から 1 行目「利用者ニーズの把握（利用者アンケートの実施）」】 施設改修にあたっては、現に今利用している方以外の意見やアイデアを反映する方策も必要かと思えます。その施設に足りないものがあるから利用していない人もいるでしょうし、頻繁に利用する方は不足を順応により解消している場合があります（例：トイレの案内板が不十分でも、位置を覚えれば不満ではない）。</p> <p>例えば、上映会・即売会・ふるさと祭り・市内共通商品券販売・タウンミーティングなど、サークル以外の方が多数来場するイベント時においてアンケートを実施し</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>キラリふじみのような劇場施設の劣化要因は、一般的な経年に伴う劣化の他に、機能劣化や性能劣化が考えられます。</p> <p>特に、性能劣化は時代の要請や市民のニーズの変化によって改善が求められるものです。開館から 12 年目となるキラリふじみでは、今後、単発的な修繕だけでは対応できない大きな改修が必要となっていきます。改修を行う際には、機能劣化を補うことも検討しております。実施の際には、ご提案いただいた内容を参考に様々なニーズを反映したいと考えています。</p>

	<p>てはどうでしょうか。その際、使用中でない部屋を開放して施設各所にキーワードやクイズを貼付し、ゲーム感覚のクイズラリーを行い、「へえ、調理室や陶芸窯、音楽スタジオもあるんだ」と再発見してもらうこともできます。</p>		
20	<p>【30頁1行目「キラリ☆ふじみの施設の充実」】 待ち合わせや終演後にくつろぐスペースとして、カスケード・ラグーン（40頁写真）のほとりにカフェがあると良いと思います。キッチンカーを横付けし、屋外イベント会場で見掛ける（夏）微霧による降温装置が付いた扇風機や、（冬）パラソル状のヒーターを持ち込めば、ウッドデッキでも運用できるのではないのでしょうか。</p> <p>また、公共施設群は夜間には人の目が届きにくいことから、ライトアップされるカスケードを望む「文化の杜公園」の北隅の土地を貸し付けてレストランを誘致し、人の流れを確保しても良いかもしれません。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>閉館を伴うキラリふじみの改修は、予算規模も大きなものになることが想定されることから、改修の内容につきましては慎重に検討していきたいと考えております。</p>
21	<p>【31頁2行目「アクセス環境の整備」】 1. 市役所前交差点は歩車分離化が検討されているようです。歩行者だけが多方向から交差する分には安全ですが、ここにショートカットを試みる自転車加わると危険が生じます。鶴瀬駅側からの下り坂からは自転車が加速しています。スピード抑止が必要です。</p> <p>2. 市役所前交差点、キラリ前新設交差点、高架下交差点から歩行者が来館しますが、消防車両が多く走行する地点です。ドライバーとは違い、緊急車両の接近に無頓着な歩行者が多く、見ていてハラハラすることがあります。歩行者も緊急車両に道を譲るよう促す看板と、消防</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>大型商業施設開業に伴う、市役所周辺整備に関する貴重なご意見として承ります</p>

	<p>署側の操作で緊急車両の接近を知らせる電光掲示板が交差点にもあると良いと思います。</p> <p>3. キラリの構内通路は、自転車・歩行者の動線が必ずしも明確ではありません。セラミックス製の路面標示やカラー舗装により、安全にエントランスにたどり着けるよう誘導した方が良いと思います。また、縁石や路面に埋め込むガイドライトがあると、夜でもうっかり車路に飛び出すこともないのではないのでしょうか。</p>		
22	<p>【31 頁下から 4 行目「展開（取り組みの方向）」】</p> <p>1. 「自転車によるアクセス環境の整備」を加えるべきかと思えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・254BP 各所のアンダーパス（ガーデンビーチ東、ららぽーと予定地東、第一新河岸橋脇）と、BP 歩道は未接続。このため、大きく迂回するか、交差点において1回余分な信号待ちをする必要がある。 ・砂川堀堤防の新河岸川に接続する東端は未舗装、また、砂川堀堤防と BP 歩道は未接続。このため、東大久保方面からは、伊佐島橋を經由し勝瀬陸橋で BP 歩道に入るまでは自動車と併走となる（陸橋側道の一方通行は自転車にも適用）。これが整備されれば、伊佐島橋で右岸サイクリングコースに入り以降は、キラリまで自動車との同空間での並走はない。 ・環境センター南門前道路や砂川堀堤防は、BP 歩道と未接続。このため、ふじみ野・苗間・渡戸橋方面からは、混雑が予想される第三保育所下交差点に進む必要がある。 <p>2. 「レンタルサイクルの検討」を加えるべきかと思いま</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>文化芸術の活動や鑑賞を困難にする要因の一つにアクセスの課題が挙げられています。公共交通によるアクセス環境の整備が、現時点は最も重要な取り組みであると考えています。</p> <p>まちづくり全体の視点から検討をすすめてまいります。</p>

	<p>す。「キラリで鑑賞、ららぽーとで買い物、農家レストラン、びん沼自然公園、帰宅」という行程の場合、すべてをバスで回ると結構な出費となります。車であれば、渋滞を招き、魅力的ではあるけれど駐車場を持たないアートのスポットや店（格安物件で頑張る若い起業家）は見向きもされません。</p> <p>そして、「江東区臨海部コミュニティサイクル」のように、各所に乗り捨てポイントがあり、営業時間も長く、同じの規格の自転車がそろったタイプが良いと考えます。この方式ではない、放置自転車を再利用方式ですと、これらメリットがありません。</p>		
23	<p>【37頁10行目「近隣自治体」】</p> <p>ふじみ野市・三芳町余熱利用施設エコパ、旧埼玉県立福岡高等学校（国土交通省の先導的官民連携支援事業に採択）、さいたま市西区の荒川右岸側（さいたま市の施設よりキラリの方がアクセスしやすい）、志木地区衛生組合利彩館リサイクル工房へのコンテンツ提供や連携もご検討いただければと思います。</p>	<p>貴重なご意見として承ります。</p>	<p>ご提案の主旨を尊重し計画を推進するなかで検討してまいります。</p>